

ROD BUILDING COMPONENTS

(グリップ周辺のパーツ全般)



細分化するフィッシングスタイルに呼応して、一層「小技」が要求されるグリップ周りのパーツ群。常に時代を先取りするマタギでは、本年も新アイテムを多数投入しました。

オンリーワンの価値を高める4要素

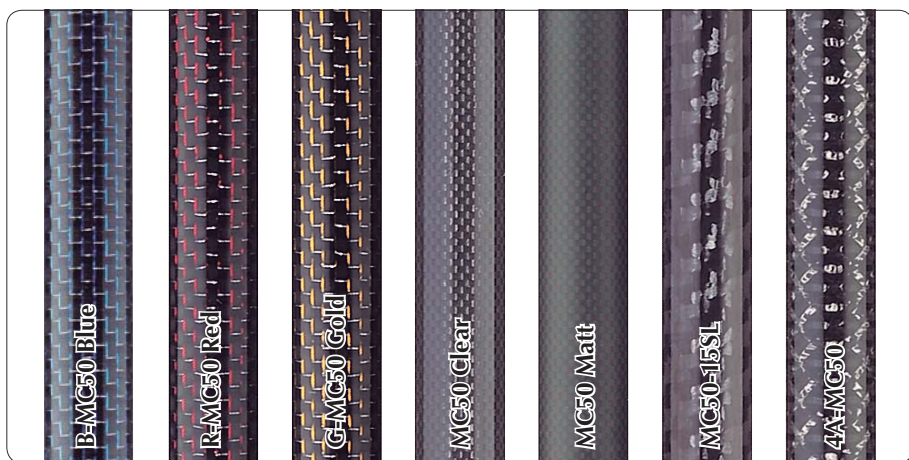


Grip Materials

自分で作る最高のフィット感

投げる、巻くといった一連の動作の中で、手に直接触れる大事な部分。人それぞれに手の大きさが違うのだから、自分の手にぴったり合うサイズに加工できればこの上ありません。既製のロッドがこの部分をカバーするのは無理があるので、これぞカスタムメークの出番。サイズに、そして形に徹底的にこだわって、最高のフィット感を。

P61~P68



Woven Carbon Tubes

色も柄も年々充実

セパレートグリップの中継ぎや、グリップまわりのアクセントに重要な役割を果たすカーボン製パーツ。これを上手にデザインに反映させるお客様が年々増えています。繊維の地柄を生かすもよし、また塗装を施してロッド全体に統一感を持たせるもよし。他のパーツとのコーディネートをお楽しみください。

P69~P71



Reel Seats

塗装タイプは海外でも高評価

富士工業の製品を中心に、様々なタイプの製品をサイズも揃えて常時大量在庫しています。また既製品の場合、リールシートの色は黒やグレートといった無難なものが多いのですが、当店ではオリジナルの塗装を施して定番化。中にはちょっと奇抜なカラーもありますが、海外では日本と違った系統のカラーが好評です。

P72~P78



Metal Parts & Butt End

これぞセンスの見せどころ

機能上の必要性は高くないものの、そこにひとつあるのと無いので、デザインを一変させる力を持っています。マタギのこれらは色もサイズも充実一途。この使い方こそがセンスの見せどころ。適材適所を見極めて自分らしさを創造してください。スレッド色とのコンビネーションも大切に。

P79~P86